

[12月5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

うまほ
かせさよこ
小二

加瀬澄春先生

幼・小学1年参考手本

おりたかずこ
お

川村美泉先生

たひな
たなかゆみ
小二

小浜大明先生

小一
おぐらこうじ
かい

山口仙草先生

[12月5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



板垣洞仙先生

小学3年参考手本



田村鄭雲先生



種谷萬城先生



後藤大峰先生

[12月5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

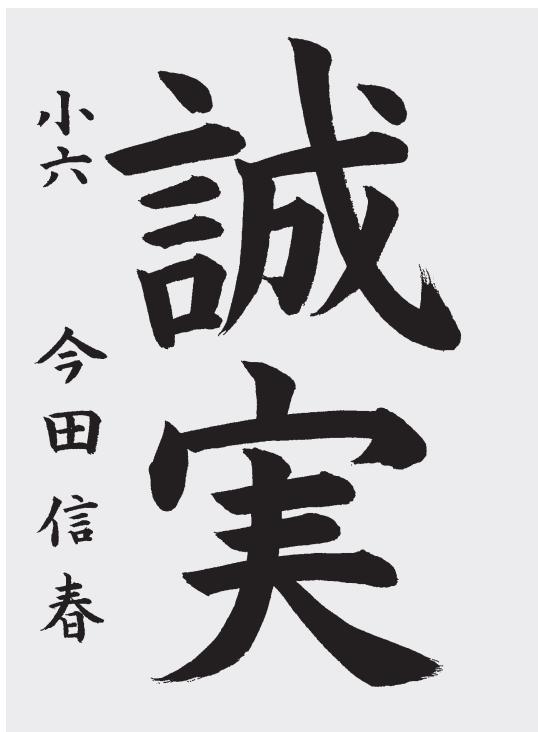


名越蒼竹先生

小学5年参考手本



広瀬舟雲先生



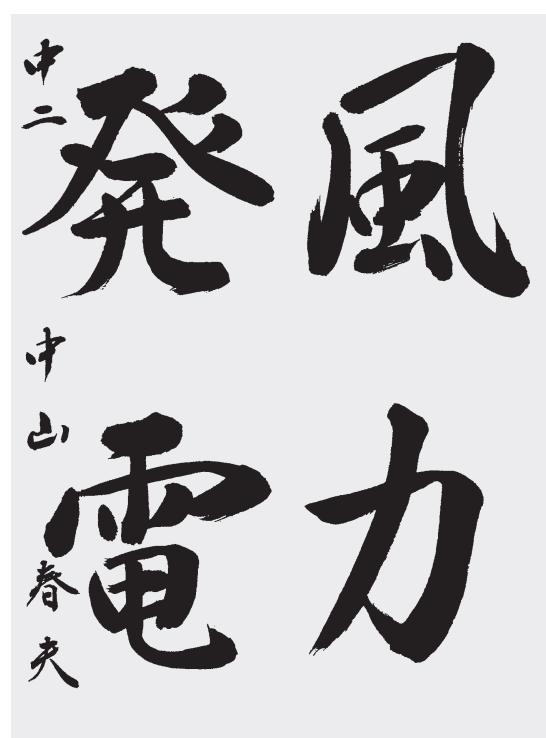
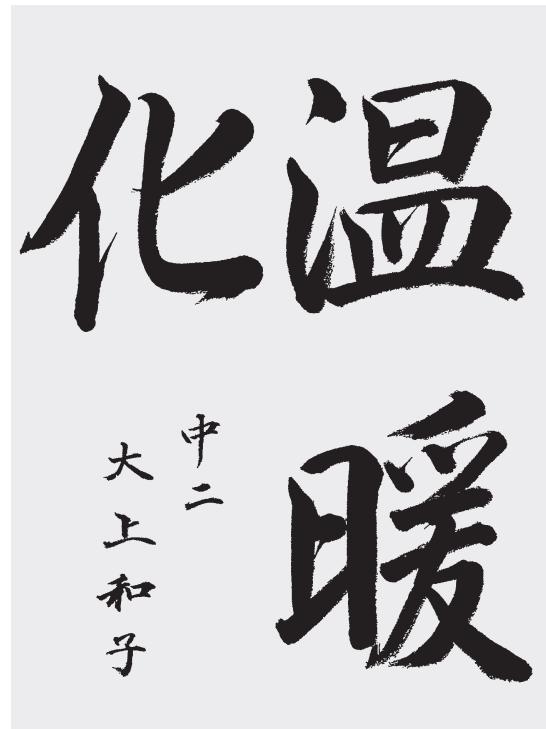
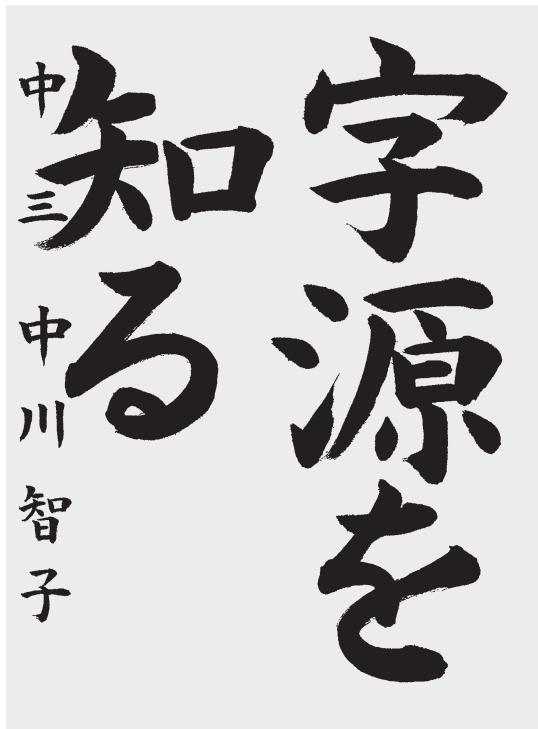
小竹石雲先生



川島舟錦先生

[12月5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

1年

か わ
るべく遠い点を打つ
に
なるべく広く
点の位置注意

お
於れおお
お(ミ)お(明)
お(教)

マウス
マウス(明)
マウス(教)

ス マ ウ
万万(ホ)
宇宇ウ
須須ス

3年

か わ
るべく遠い点を打つ
に
なるべく広く
点の位置注意

かぶ
加加かか
かぶ(明)
かぶ(教)

マウス
マウス(明)
マウス(教)

ス マ ウ
万万(ホ)
宇宇ウ
須須ス

4年

詩人
詩人(ミ)詩人(明)
詩人(教)

詩人
詩人(ミ)詩人(明)
詩人(教)

5年

の 冬山
四画目の点は左右の
払いの中に
少し出す

の 冬山
四画目の点は左右の
払いの中に
少し出す

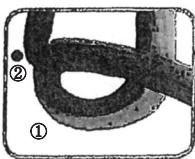
の 木
やや右上がり

理 想
やや右上がり
止め

た ひ な
ひなた(ミ)
ひなた(教)

まほう
まほう(ミ)
まほう(教)

「横の結び」の筆使い



① 「●」では、筆を一度止めて、
ほ先の向きは回さない。

② 軽く止めて、
ほ先の向きを変える。

う ま ほ

宇 宇 宇
宇 宇 宇
宇 宇 宇

森
森(ミ) 森(明) 森(教)

十木 卍 杵 森 森

ここが大切
ほ先の向きを変える。

①だんだん左上に曲げる。
②軽く止めて、
ほ先の向きを変える。

もみの木
もみの木(ミ)もみの木(明)
もみの木(教)

乃乃乃の
乃乃乃の
乃乃乃の

筆順

一十才木

毛 毛 毛 毛
毛 毛 毛 毛
毛 毛 毛 毛

美 美 美 美
美 美 美 美
美 美 美 美

ノクタ冬冬
ノクタ冬冬
ノクタ冬冬

冬山の朝
冬山の朝(教)

止め

一山山
一山山
一山山

冬山の朝
冬山の朝(明)

止め

2年

か わ
はねる
かぶ
不不ふふ

森
森(ミ) 森(明) 森(教)

止め

詩人
詩人(ミ)詩人(明)
詩人(教)

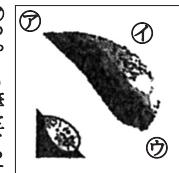
理 想
理 想(ミ)理 想(明)
理 想(教)

毛筆参考手本解説(2)

6年

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

ンブ ドラ



位置
止め

字源を 知る

立てるにぎみ

字源
不不不フ

良良ラ

ノ 摺音符号からん

止ト ブランド

ブランド (ゴ) ト
ブランド (教) スー

方向
方向
はなす
止め

⑦ 筆庄をえずく、右
下に短く引く
左上に筆を上げる

左払いの
方向の変化

払いがはねに
なることが
ある

風力発電

終筆の变化
点画の省略

風力発電

りか
くわ

源字	字形
し	之
く	久
れ	れ
か	か
な	奈
か	加
れ	礼
く	社
し	れ
之	久
久	久
れ	く
れ	く

ひらがなの字源

(373)

連綿を用いない参考手本	しぐれかな (H)	しぐれかな
現代語訳 大木となつた楠の木。その根元を時雨が静かに濡らしている。何と森閑とした風景だよ。	時雨 (しぐれ) ...冬	時雨 (しぐれ) ...冬

俳句
楠の根を静かにぬらす
時雨かな
作
与謝萬村

* 源字について、異字體から変遷したものに * 印を付して () にその字體を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

『だいこん』
かたちをよくみて、ていねいにかきましょう。

は(ゴ) は(明) は(教)

はたけでだい

一んをみつけた。

幼・小学 1 年

一ん

をみ

あべゆりな

支部名

だん・きゅう

がくねん

一

なまえ

小学 2 年

た
し
ま
し
た
友
だ
ち
に
手
紙
を
わ

支部名

段・級

学年

二

名前

林 正人



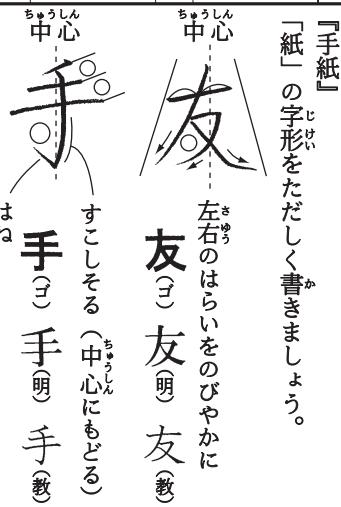
はらう

ながくはねる

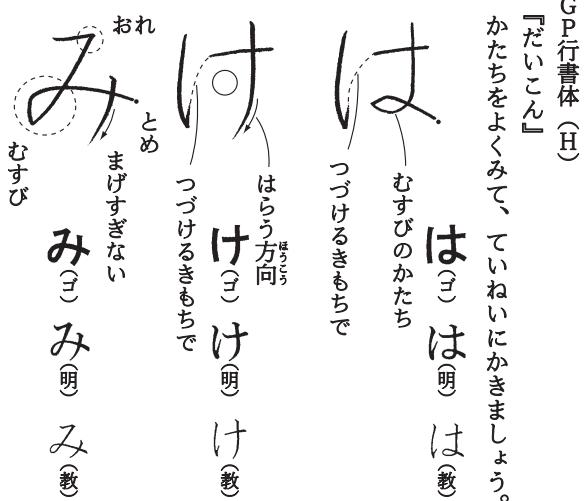
紙

紙

紙



「手紙」の字形をただしく書きましょう。



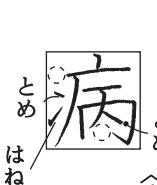
[12月5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	役	質	温	歌	大
段・級	目	が	泉	い	き
学年	を	、	に	ま	な
四	し	病	ふ	し	声
名前	て	気	く	よ	で
今宮望	い	に	ま	う	楽
	ま	き	れ	.	し
	す	く	る	。	く
	.	薬	物		
		の			

支部名	歌	い	ま	し	よ	う	.	大
段・級	い	ま	し	よ	う	.		き
学年	三	竹	田	和	心	.		な
名前	竹	田	和	心	.			声
	田	和	心	.				で
	和	心	.					楽
	.	.	.					し
								く



【温泉】
とくに「病」の字形を正しく、整えて書
きましょう。

所十貝

薬(イ) 薬(ア) 薬(カ) 薬(ダ) 薬(カ)

病(イ) 病(ア) 病(カ) 病(ダ) 病(カ)

質(イ) 質(ア) 質(カ) 質(ダ) 質(カ)



一 口 可 旦 呂 哥 歌
ひつじゅん



白 治 治 樂
ひつじゅん
歌(イ) 歌(ア) 歌(カ) 樂(イ)
歌(ア) 歌(カ) 樂(ア) 樂(カ)



一 十 土 吉 韦 声
ひつじゅん
声(イ) 声(ア) 声(カ) 声(ダ) 声(カ)

『歌』
はらいのほうこうや長さにちゅうして
書きましょう。
『声』(イ) 声(ア) 声(カ) 声(ダ)
声(カ)
『樂』(イ) 樂(ア) 樂(カ) 樂(ダ)
樂(カ)
左 右のはらいのほうこうに
ちゅうしてつりあいをとる。

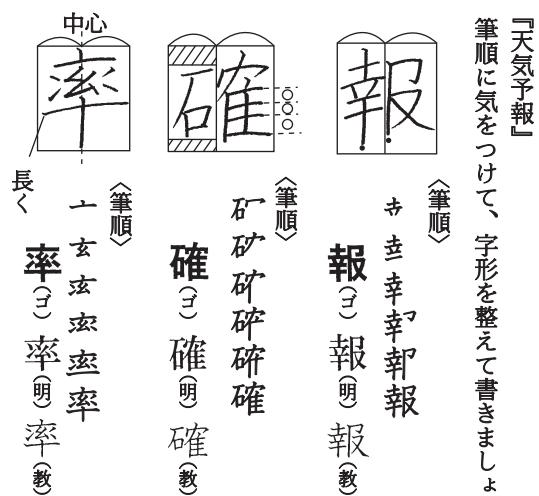
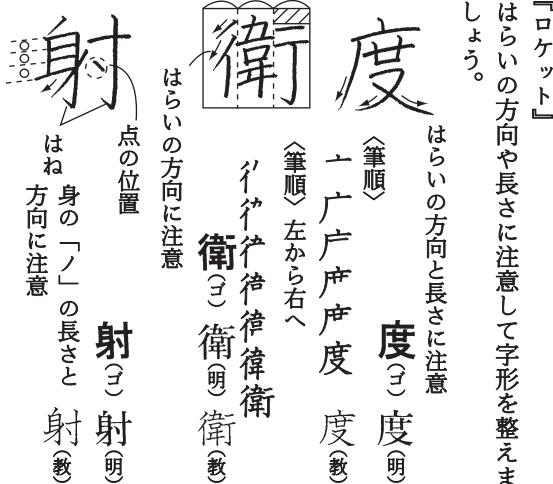
[12月5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	は	今度の新型ロケツト
段・級	・	通信衛星をのせて
学年	さ	さを持つて行きります。
六	、	今度の新型ロケツト
名前	发射されると聞く。	通信衛星をのせて
茶畠勇人	は	さを持つて行きります。

支部名	率が高かつたので、雨の確か
段・級	率が高かつたので、雨の確か
学年	天気予報で、雨の確か
五	率が高かつたので、雨の確か
名前	天気予報で、雨の確か
鳥井里菜	率が高かつたので、雨の確か



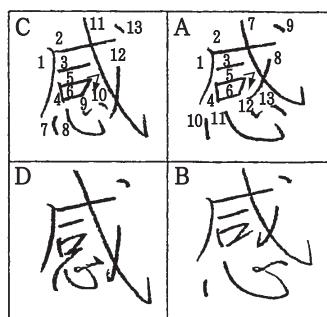
[12月 5日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	
松下由布子	師走は一年最後の締めくくり、 誰もが慌ただしさの中に特別の 感慨をもつて迎える月。

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	
松下由布子	誰もが慌ただしさの中に特別の 感慨をもつて迎える月。



・行書のワンポイントアドバイス

Ⓐは小学校で習う筆順で、Ⓑはその行書です。Ⓒはもう一つある筆順でⒹはその行書です。「感」の筆順は古来2通りあり、筆順によって少し字形が変わります。

感慨H

中心 感慨(ヨ) 感慨(モ) 感慨(セ)
← (りっしんべん) ← (りっしんよう) ← (りっしんにょう)

中心 慌(ヨ) 慌(モ) 慌(セ)
↑ (りっしんべん) ↑ (りっしんよう) ↑ (りっしんにょう)

『師走』
書きましょう。
書数の多い漢字を中心に注意して、字配りよく

これからのお作品締切日と課題

令和5年1月号～3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5

安	け
心	ば
で	防
き	、火
ま	設
す	い
。	設
う	備
時	を
に	整
お	え

幼・小 1

が	ま
や	る
け	い
ま	お
し	も
た	ち
。	

小 6

か	し
ら	い
敬	あ
愛	の
さ	は
れ	誠
て	、実
い	で
る	み
。	ん
な	や
さ	さ

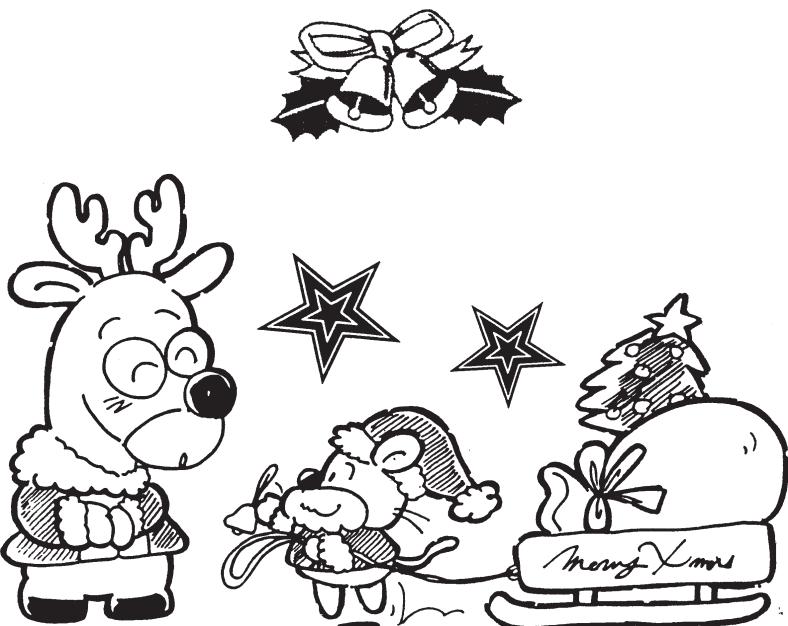
中学生

私	た
「矛盾」	こ
逸話	と
がも	う。
とで	ある。

1月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小 1	締切日
故郷 生まれ	短歌	湖水	働く	毛筆	空	うさぎ	さ
しらゆき	白雪紅梅	事始め	野原	福笑い	大会	へいわ	ゆめ
の太陽系	観察	発展	クレヨン	切手	金づち	ミルク	な
たけうま	三寒四温	氷点下	最初	とりの声	土星	きもの	おに
尽くすを	卒業式	公式戦	信念	竹ざいく	テレビ	もけい	み
月花の上なる しばらくは かななる	万里長城	世界地図	花だより	緑茶	白くま	リズム	むれ



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

「桃栗三年、柿八年」ということわざがありますが、これは発芽してから実ができるまでにかかる年数を表しています。「桃と栗は植えてから三年、柿に至っては八年もかかる」ということから、簡単には一人前になれない。ひとかどの人間になるのにはそれ相当の努力が必要だ」という意味として用いられます。それでは楷書の語源となつた「楷の木」は、発芽してから花や実がなるまでの年数は、どれくらい必要だと思いますか。これは柿の待ち時間がどころではあります。なんと約三十年もかかるといわれています。個体差が多少あるとしますが、とても長い年数が必要なのです。楷書を学習し練習を重ねて極めるまで、つまり熟達するのには誰でも非常に時間がかかりますね。また、つままり人でいうところの「一人前になるまで、ずっと枝には葉のみしかつけません。春から秋にかけて葉が茂りますが、若木の間は、まず樹高(自らの身長)を徐々に高く伸ばすことに集中し、花を咲かせ実をつけるための準備を黙々と時間をかけてしているものと思われます。ですから、その間は、人間には雌・雄を秘めたまま、楷の木は過ごすのです。ゆえに、仮に苗木を経て花が咲くまで、メスの木なのか、オスの木なのかがわからないのが楷の木なのです。ところで楷の木は「移植を嫌う」といわれています。ですから、親の木の下で落ちた種から土の上に新芽が発芽したとしても、絶対むやみに

第69回 「楷」の花

に引き抜いてはいけません。周囲の土をできるだけ多く開い込むようにしてそつと移植しないと枯れてしまう非常にデリケートな樹木なのです。楷の木は、孔子の墓所に弟子の子貢が植えたといふ名木であることから「学問の木」とも呼ばれ、また硬い木であることから、昔の中国の高級官僚登用試験「科挙」に合格すると、この楷の木で作った杖が授けられたといいます。从此から「楷」に模範とか典範という意味が派生しました。大正四年に白澤保美博士が孔子の墓のある中国曲阜から種を持ち帰り、東京日暮の林業試験場で苗に仕立てたのが日本における最初の生育といいます。ここは平成からは都立森林公園となり一般の人々も散歩できるようになりました。ここにも楷の木が存在します。楷の木で作った杖が授けられたといいます。明治33年に農商務省林野整理局の施設「日暮試験苗圃」として開設された場所です。ここで育てられた楷の木の苗が日本各地の孔子に関する場所に配布されたといいます。

夏には大きく成長したメスの木には、ナンテンに似た形ですが、緑色の実がたくさんでき、これらが秋になると次第に赤く色づき、実全体が真っ赤になつたと思ったら、黒っぽい茶色になります。そして秋も終わるころ地面に落下します。楷書という名前の由来となった楷の木について四回にわたり紹介してきました。同時に、楷の木の知られざる一面についてお話ししてきました。東京では湯島聖堂、岡山県備前市では旧閑谷学校へ行くと素晴らしい樹形の楷の木を見ることがあります。紅葉(黄葉)の季節となりました。皆さん近くにも楷の木が植えられていますが、もしれません。調べてみてください。

(つづく)

今月のホープ



中三 柳田夏月（白峰会支部）

大らかで軽やか、リズムにのって筆先が躍動する様が伝わって来ます。難しい連绵の筆使いも自然で巧みです。

支部名	お	ガ	二	
段・級	い	ス	酸	
	も	と	化	
	な	も	炭	
学年	い	い	素	は
六	気	、		、
氏名	体	、		炭
高島世愛	で	色	酸	酸
	す	や		
	。	に		

小六 高島世愛（新栄支部）

漢字、平仮名共、しっかりとした書き振りで書き上げています。筆圧も適度で作品全体に清々しささえ感じられます。



小四 大槐海斗（東葉支部）

非常に伸びやかでスケールの大きな作品です。日頃、真面目に取り組んでいる姿勢がうかがえます。

支部名	み	ふ
治田書道会	ま	し
だんしきゅう	し	ぎ
4	た	な
がくねん	じょ	よ
一	う	え
なまえ	れ	を
一じょうれい	。	

小一 一條零維（治田書道会支部）

しっかりとリズムで大きく、丁寧に書かれています。名前まで力強く、字形も美しい立派な作品です。

1月号毛筆参考手本（予告）1月9日締め切り分

幼・1年

七

くどうみみ

2年

ゆめ

小一
すどうさくや

3年

空

小三
山川花子

4年

大会

小三
白石洋

5年

働く

小五
畠野実

6年

野原

小五
伊藤礼

中学

短歌

十二
山田恵子

白雪
紅梅

中二
森学人

わ
へ
い

小二
山田えみ

う
さ
ぎ

小二
わだゆり

い
福
笑

小四
毛利美子

毛筆

小四
毛利美子

め
事
始

小六
古賀小春

湖水

小六
水木れい

ゆき
いら

中三
谷川文香

生まれ
故郷

中三
西田健

○先日、月例審査・秋の昇段級試験の審査が行われました。審査の先生方は丁寧に審査してくれくださいました。12月号と一緒に受験の結果一覧が送られます。また、別便で合格証が11月上旬にご指導いただいている先生のものと届きますのでお待ちください。月例審査で写真版に掲載したい作品がありますが、残念なことに濁点「。」が書き忘れています。提出するときにもう一度自分で自分の作品を見直してください。次号、幼・小学校一年生課題の最後にある「。」を書き忘れないようにご注意ください。

○2022年、富士山の初冠雪は平年より2日早く、去年より4日遅い9月30日でした。今年の立冬は11月7日（月）です。立冬の日はだいたい決まっていて毎年11月7日か8日のどちらかです。「立冬」という言葉は、紀元前に生まれた二十四節気といふ古い暦から来ています。最小単位を（節氣）または中（中氣）と呼び、一つが約5日間の期間をもっています。立冬は冬に分類される6つの節（うち最初に巡ってくるもの）です。まさに「冬の始まり」です。ニュース等で「暦の上では今日が冬の始まりです」と耳にします。

○12月は締め切りが普段の月より早くなります。12月5日（月）になりますのでよろしくお願いいたします。

編集会議